

令和7年度 授業改善推進プラン

<教科名 理科>

小平市立小平第五中学校

【生徒の実態】

	第1学年	第2学年	第3学年
学力分析	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組む姿勢は良いが、提出物や予告した小テストの出来が芳しくない。姿勢と結果の乖離が大きい。また、文章による説明を苦手とする生徒が多く、学習内容の定着は短期的なものになっていることが考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で学んだことを問題集等を使って定着させることに課題がある。 ・実験等の結果に正対し、自分で考えて記述することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題への思考や、レポートでの思考を見ていると、考える力がこの3年間で向上していることがわかる。その反面、復習テストの結果から、第1、2学年の学習内容が定着していない生徒が多いこともわかる。
学習状況	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に意欲的な生徒が多く、実験やグループワークで他者と協力して行う学習に関しては、活発に行うことができる。しかし、家庭学習が定着しておらず、提出物や予告した小テストの出来が芳しくない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に集中し、しっかり取り組もうとする姿勢はとても良い。 ・タブレットを使った学習に慣れていない生徒がいる。 ・レポートの提出率は、とても良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考える課題に対して主体的によく考えている様子が見られる。家庭学習に関しては問題集を提出する課題に指定していないため、取り組んでいない生徒もいるのが現状である。
生徒アンケートの結果より	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての項目において、肯定的な回答が9割を超えていた。今後も維持できるようにしていく。 ・また、今後は項目6と7を更に高められるように授業の展開を工夫していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・項目3のICTの使用や、項目4の発言や質問には適切に対応している。 ・項目1の説明は改善し、項目7の復習は促していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・項目5「授業の始めにねらい(めあて)が分かり、授業の終わりに振り返り(まとめ)がされている。」について、「そう思う」「だいたいそう思う」の合計が94.3%と最も低かった。

【授業改善の手だて】

	第1学年	第2学年	第3学年
改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・理科と日常生活との関わりを題材にし、興味・関心を高めるとともに、科学的思考力を深める。 ・授業内での生徒間のやり取りを増やし、アウトプットをする場面を増やし、知識の定着と理解を深めさせる。 ・家庭学習を充実させるため、学習者用端末の活用を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題集やデジタル教材を活用させる場面を作っていく。 ・前提条件や学んだことを関連させ、考えを組み立てて、文章表記させる場面を増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で問題集やデジタル教材の活用を呼び掛けていく。 ・第1、2学年の復習動画を夏季休業中にアップロードし、生徒が復習しやすい環境をつくる。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・観察、実験のプリントの結果、考察、まとめ、感想の内容を確認する。 ・単元テストで学習の定着を確認する。 ・ワークの取り組み、振り返りを定期的に確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題集やデジタル教材の活用状況を確認する。 ・文章による回答状況を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材の活用状況一覧で活用状況を確認する。 ・復習確認テストの結果を確認する。